

議 事 録	作 成 日	2020年2月27日
	作 成 者	千種 隆昌

会議名	第3回共生型施設建設等準備委員会
日 時	2020年2月19日(木) 10:00~11:40
場 所	桑名市総合福祉会館 1階 第一会議室
出席者	委 員 : 長谷中委員長 藤原副委員長 加藤委員 田上委員 栗田委員
	事務局 : 加藤常務 竹内局長 山下法人統括マネージャー 水谷係長 千種
	内藤大和リース三重支店長
欠席者	水谷委員

議事概要
<p>1. 挨拶</p> <p>○委員長 前回準備委員会、作業部会を経て平面図の修正版が出てきた。平面図を検討出来るのは当初のスケジュールだと今回が実質最後になる。最終案に向けてご遠慮なくご意見頂きたい。</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 前回議事録確認 資料1に沿って事務局より説明。質疑無し。</p> <p>(2) 基本計画(構成案)について 資料2に沿って事務局より説明。</p> <p>○事務局 作成期日をいつまでにするか、はっきりと決めていない。ハード部分は補助金申請の関係で3月末頃までに確定が必要と認識している。ソフト部分は社協に作成をお願いしたいが、作成時期の目安を教えてください。</p> <p>○委員長 当初のスケジュールでは3月末を目途に作成するとなっているが、現状ふまえ事務局内で作業部会とも相談した上で、結果を委員会へ報告して頂きたい。</p> <p>(3) 作業部会の活動状況について 資料3、資料4に沿って事務局より説明。</p> <p>○委員 総研の職員ヒアリングについて、対象者と内容は？</p> <p>○事務局 福祉ヴィレッジ内で展開予定の事業管理者はじめ、社協全体の状況を知る意味から、広報や採用の担当者、地域福祉事業の担当者まで幅広く対象にしている。 ヒアリング内容としては、事業の現状や課題について聞き取り、伸び代などの確認を行うと</p>

議事概要

聞いている。

○委員

担当するコンサルタントはどのような人か？

○事務局

主担当は、シニアコンサルタントの肩書で、社協への指導経験もある総研介護部門のリーダー。当日は記録役の1名含む2人体制で実施予定。

○委員長

以前の委員会で提供された総研についての資料も参照しながら、今回のプロジェクトは規模も大きく社協の将来に関わる重大なもの。これまで社協内部で検討してきた理想に近づけるため、中・長期も見据えた収支予測を診断してもらうのは大変意義があり、しっかりやってほしい。

(4) 平面図について

平面図、質疑回答書に沿って事務局より説明。

- ・居住棟の1階に共用事務室を設け、玄関も共用。
- ・保育室面積については定員を基に今後修正。
- ・遊戯室の面積減、保育所・療育の事務室も共用。
- ・全体的にトイレが点在している。給水、排水設備費用がかさむため再検討。
- ・地域交流スペースの図面は三者協議会で提示済。店舗と並行して今後詳細検討。

資料3に沿って作業部会での検討事項を事務局より説明。

○委員

- ・EVが多い。保守点検が必要で維持費がかさむ。利便性は分かるが普段どれほど使用するのか。例えばEV6、汚物だけに専用のエレベーターが必要か？
- ・トイレも多い。配管などのメンテナンスも大変では？利用者向けは必要だが、職員向け、保護者向けのトイレがこれだけ必要か？例えば通所棟、1階には遊戯室横、共用事務室、療育に2つ、シャワー横にもある。2階も各エリアに点在しているが、療育と生活介護それぞれにこれだけ必要か？

○委員

療育と生活介護は利用者の身体の違いが異なるため別の方が良い。

また使用時間が長くなるため数もあった方が良い。

○委員

2階職員用トイレはどうか？

○事務局

2階の共用事務室を1階へ集約するので不要と考えている。

○委員

職員用も1つくらいあった方が良い。

○事務局

EVやトイレはどこを省くかご議論頂き、お示し頂きたい。

議事概要

○委員

療育エリアの配置は療育内容によると思う。3/4（水）に竹の子の会主催の会合があり、療育センターを利用している保護者が集まり、建設推進マネージャー、社協職員にもお越し頂く予定。その際親御さんの意見・本音をしっかり聞き取っていただきたい。

○委員長

福祉ヴィレッジの最初の発想に障がいを抱えている子の親も支えていく事も大事にしていこうとあった。障がいの有無に関わらず、子どもを支えていく場、療育と保育を一体に、それぞれの子どもに合わせた支援、家族に合った選択肢を増やせるよう、当事者の声を丁寧に拾いながら最大限建設に活かしてもらいたい。療育は現状と今後では内容が変わってくる。今は過渡期で色々な意見が出てくると思うが、丁寧に説明をしながら合意形成していくことが大事になってくる。

○委員

トイレが多いという意見には異論がある。医療センターを見学した際、最初は多いと感じたが、その後病院を思いだしたら便利で必要と感じた。

○委員長

色々な配慮を必要とする方が利用すると想定し、最低基準ではなく、最適な配置をする方向で検討してほしい。コスト面も踏まえ、必要性・利便性を検討し、設置の根拠を説明出来るようにして頂きたい。

○委員

居住棟のライトコートがなくなり、事務室も共有するなどスペースが有効に使われ、整理されてきているように思う。様々な意見があり調整も大変かと思うが、皆様の意見を反映し良いものができればと思う。

○委員長

障がい児者への切れ目の無い支援を強化していくことも今回のコンセプトにある。ワンストップでサービスが受けられるような支援体制ができるハードを検討頂きたい。

○委員

- ・遊戯室が狭い。現在の縦長だと発表会時に後ろの方が見えづらくなる。できるだけ正方形に近い形が良い。
- ・倉庫はある程度必要。日々使用する教材用の倉庫は、多度保育園の場合、クレヨン等の教材は各自保管にしている。子ども用のロッカーを設置し、子どもたちが使い易いよう設計してもらえると良いのでは。

○事務局

子ども用ロッカーは作り付けの方がよいか。

○委員

基本的には作り付けの方が良いと思うが、園によっては、部屋をオープンスペースにして間仕切のように可動式にしている所もある。ただ、県の監査時に、可動式は地震の際キャスターが滑り危険との指導がある。作り付けにするか、可動式にするかは運営方法、考え次第で変わってくる。

議事概要

○事務局

学校などでも廊下を区切らずオープンスペースで行っているところもある。可動式だと什器は自由度があり便利。

○委員

今の流行はオープンスペース。しかし、デメリットとして、実際に行っている方から、雑音が激しい、廊下や隣の部屋から声が聞こえてくるのを無視しながらやっているという話を聞く。一方、イベント時に交流しやすいというメリットもある。参考として、風の丘保育園はオープン型。

○事務局

いずれを採用するかは運営上の施設のあり方のベースになる。什器の考え方、基本構成にも関わってくる。

○事務局

当初はすべての事業の壁を取り払うようなイメージをしていたが、療育の関係者や保育士さんの話を聞く中で、実際にはなかなか難しいと分かってきた。ただ、交流が自然と出来る仕掛けは必要。

○委員長

理想の保育園、療育を作っていく為に知恵を絞り、メリット、デメリットふまえて検討頂きたい。これまでだと、想いはあるけれど出来ないということも、今回は他職種がいるので乗り越えることが出来るかもしれない。障がい児の積極的な受け入れも可能な包摂型の保育所を目指すため、最低基準ではなく配慮が必要な子ども過ごせる環境を整備する必要がある。事業ごとで完結するのではなく、福祉ヴィレッジ全体を保育園、療育センターと捉えることで場所の活用等、発想も広がってくる。あらゆる場所を有効的に活用頂きたい。例えば、階段で子どもの絵や、地域の方達が作ったものを展示する等、会話が弾む仕掛けや交流を促す仕掛けを検討したり、公園、園庭、芝生広場等の全体を活用しながら療育、保育の支援につなげていく視点からも知恵を出して頂きたい。保護者支援も大切で、保護者の集まる場を、地域交流スペース1階に限定するのではなく、施設内の空き部屋なども活用してもらいたいと思う。

○委員

療育の園庭が離れているが、どのように外に出るのか？

○事務局

現在の想定は、廊下、ロビー、乳児室横の廊下を通り、下足にて履き替え外に出る動線。

○事務局

調理室に搬入する車の動線と重ならないよう、施設内を通り、外に出る動線になっている。先日の作業部会でも協議し、特に異論はなかった。

○委員長

建設推進マネージャーの意見も反映し、公園も一体的に有効活用して頂きたい。

○事務局

障がい児者相談支援事業所を共用事務室内に設置したいと考えているが問題無いか？

議事概要

○委員

面談が出来る個室が別にあれば事務室は共用しても問題無い。

○委員

更衣室は2階でも良いのでは？

○委員

- ・保育所の子どもは靴をどこで履き替えるのか？登園時の子ども受け入れ動線は？
今の図面だと、メイン玄関で下足し、靴を持って各室移動することになるが、園庭側から入る形の方が使い易いのでは。
- ・一時保育、子育て支援センターを実施するのではあれば、このスペースに子ども用のトイレが必要。実施するかどうかは今後検討頂ければと思う。

○事務局

子育て支援センターの設置には行政との詳細な協議が必要。伝馬公園時の計画では、将来的な展望としているが、現時点ではどの部屋も空室とならないよう稼働率を重視し配置したい。明確な使途、必要性ふまえ、図面を修正していきたい。

○委員

先日、自立支援協議会に出席した際、差別の無い地域を作っていく為の取組を進めていくという話があった。福祉ヴィレッジをきっかけに差別が無いような地域、モデルケースになると良い、仲良くなれば差別につながらない。市議から委員へ福祉ヴィレッジのことで、議会で何か質問することはないかと聞き取りがあった。会派にとらわれずみんなで盛り上げてもらいたいとお伝えをした。

○委員

保育所定員について、大山田地区、陽だまりの丘地区のニーズを把握しながら、算出した方が良い。桑名市が小規模保育を進めていた新西方にひまわり保育園がある。その辺りとの調整も必要。大山田保育園の定員も下げると思う。総研のデータも参考に定員を設定してもらうと良い。

○事務局

ロッカーを作り付けで設置する場合、ロッカーも面積に含むのか？

○委員

ロッカーも含めた部屋面積で計算。

○委員

今からでは難しいと思うが、駐車場と園庭をひっくり返せないか。周りに駐車場があり、中央に園庭がある方が、多くの目が行き届き、下足もスムーズになるのではと思った。

○委員長

- ・駐車スペースの有効活用も検討して頂きたい。
- ・保育の定員、大山田地区の他の保育園も含めて、どの程度ニーズがあるのか、どのような考え方を軸にするか、ここが基幹としてある程度担っていくのか、他園と連携して補完的に行っていくのか、他の園では対応出来ない部分を担うことも想定し、必要性和最適性のところで軸を決めながら検討を頂きたい。

議事概要

- ・子育て支援センターに関しては行政との協議が必要になる。保育所の機能として、子育てに加え、家族支援も重要。どのような形にしていくのか検討の余地がある。制度にのせて子育て支援センターとして行っていくのか、あるいは、子育て支援を親支援として行っていくのか。行政と検討しながら、どの機能を持つてくるのか検討頂きたい。
- ・防災拠点についてもアイデアを出しながら検討頂きたい。緊急避難所として周辺にいくつか指定場所がある。一次的、二次的な機能を持たせるのか、公共的な空間として求められる機能を今後検討する必要がある。公園を緊急避難所にする等。本事業は、社協、企業、行政、住民が一体となって行っている。専門用語でいうとコレクティブインパクト、職種、分野を超えて行っていくのが今回の強み。そこへ社協の強みとして、相談機能、コーディネート機能=つなぐ機能を活かす、あるいは要援護者、配慮が必要な方への支援に特化する等、福祉ヴィレッジで地域のためにどんな防災拠点の役割を担えるのか、大和リースの避難所整備の知見も活かしながら、星見ヶ丘に建設される防災拠点との連携も踏まえ検討頂きたい。
- ・ヨナハとの関係については対立するのではなく、相互的にそれぞれ役割分担をしながら、弱み強みを活かしwin-winの関係を築いていくことが大切。地域完結型医療、地域包括ケアの推進も力を入れており、コンセプトは一致している。

○委員

避難設備（シューター）は現場の職員に確認してもらおうと良い。この設備では運用は難しいのでは。参考までに、のぞみは避難設備として手動EVを設置している。

○事務局

実際シューターを使っているところの話を知ると、大柄な人の利用は大変と聞いている。

○委員長

- ・想定外をいかに無くすか、安心安全な公共空間を作ってもらいたい。
- ・今後、本事業を評価する仕組みも大事になってくる。その仕組み、体制も検討してもらいたい。

3. その他

- ・次回（第4回）：3月6日（金）10時から 総合福祉会館
- ・第5回は次回に日程調整。

以上